

<はじめに>

全国ストップ・ザ・ロコモ協議会（SLOC）が設立されてから2年余りが経過した。

NPO法人は、寄付金を原資として活動している。特に、認定NPO法人の要件として、寄付金の割合が規定されている。そのような観点から、SLOCの活動とその財政的裏付けについて検討してみた。

<現況>

経理の現況は、平成27年1月5日現在、大口賛助会員として3社から250万円、2団体と8社から一般寄付2,700万円である。合計で2,950万円となっている。

活動としては、平成26年度から、SLOCは、ロコモコーディネータ資格取得研修会の開催を開始し、第1回を6月に浜松市で、第2回目を12月に宮崎市で開催した。また、市民公開講座のロコモキャラバンを、8月に大阪府で、10月に札幌市で開催し、平成27年3月には、福岡市で開催した。それらの活動の拡大、具体化にはさらなる予算の確保が重要なことはいうまでもない。

そこで、SLOCでは、平成29年度からの認定NPO法人を目指している。認定NPO法人取得の目的のひとつとして寄付金の募集がしやすくなり、寄付をする側の税の特典があることによるのである。

<今後の課題>

現在は、JCOAからの寄付金が毎年1,000万円ほどあるが、今後は、これを約500万円程度に減らし、その他の寄付を2,000万円以上に増やす努力が必要になってきた。そのためにも、SLOCの活動により、ロコモの啓発活動などが活発になり認知度が上がれば、寄付をする側の理解が深まると考えられる。最後に、SLOCは、やっと軌道に乗り始めたところではあるが、さらなる飛躍をめざしたいと考えている。ぜひとも、JCOA会員のご理解とご協力をお願いしたい。